バージョン Ver.9.40 以降のものをお使いください。

これ以前のバージョンでは、18行/頁、22行/頁以外は全て22行/頁になってしまい、頁の区切りが乱れてしまいます。

1. ケーブルの接続 「TEN-100」とパソコンを、クロス結線のシリアルケーブルまたは USBケーブルで接続します。

「T・エディタ」の設定 2.

-フロー制御(E)

cねし

直数表示(K) ○ 奇数直

● 全頁 ● 非表示

行間設定(<u>6</u>) 自動

頁範囲(Z) ☞ 全範囲 ☞ 奇数頁(表) ☞ 偶数頁(裏)

∉ Xon/Xoff

新制作品 開始の一 上書き除ない。 名前を付けて保存(A)

 ぞえる)

 ま出しい

 合本(3)

 分冊(8)

8700

日本語 ローマ字 Base 全

出力ボート(1) СОМ 2 •

<mark>● 毎月</mark> 墨字ブリンタ | 点字(ESA721) | 送信設定 |

送信速度(R) ○1200 ○2400 ○4800 ◎9600

データ長(D) ころ ころ こ7 ※8

パリティ(P) すなし こ奇数 に偶数 にマーク

| 申県 | |暴字ブリンタ ||点字(ESA721)|| 送信設定 - ETIRN 能田(H)-

(通択したファイルの最終面数 1)

現在の直全部の直 印刷版数(1) 1 🚽 印刷面(E) 《片面印刷

「方面印刷」
 「毎直末」
 「方面印刷」
 「日面印刷」
 「しない」

点字印刷(P)

- 改直出力(L) ○ 最終行

RS-232C 1952: COM2 9600bes 8 なし 1 Xor/Xoff

◎ 編集中のファイルを印刷 C その他のファイルを印刷 閉じる(C)

頁~ 1 頁

◎ 編集中のファイルを印刷 ○ その他のファイルを印刷 | 閉じる(())

- (1) 先ず、「T・エディタ」を起動し、メニューバーの[ファイル]-[印刷]を 選びます。
 - (2) 印刷ダイアログが開きましたら、 上部の 送信設定 タブを選び、 次のように設定します。

出力ポート $COM1 \sim 9$: * (プリンタを接続したポートを選びます。) 送信速度 9600 : データ長 8 パリティ なし ストップビット: 1 フロー制御 X on / Xoff : タイムアウト : チェック無し ★ 使用するポートは、BIOSや Windows のシステム設定で 使用可能となっていることをご確認ください。

(3) 上部の「点字(ESA721)]のタブを選びます 「TEN-100」では、片面印刷、両面印刷に 関わらず、常に下記のように設定してください。

印刷面	:	片面印刷
改頁出力	:	毎頁末
頁数表示	:	全頁
頁範囲	:	全範囲
行間指定	:	自動

印刷範囲、印刷部数はご希望の数値を入れてください。 最後に、ダイアログ左下の「点字印刷」のボタンを 押しますと印刷が開始されます。

T・エディタで編集する1頁の行数は、18、22、24、35行にしてください。 自動的に1頁に収まるように行間隔が変わります。 1頁が18行のときは自動的に両面印刷になりますが、 片面で印刷したい時は、TEN-100の用紙を送る操作ボタンの「前」と「後」の 2つのボタンを同時に押しながら電源を入れてください。 18行の片面印字モードになります。 尚、18行を両面印刷するときは、必ず偶数頁分のデータを出力してください。 通常は、印刷範囲の設定は、奇数頁から偶数頁の指定をします。 2015/01/09